

南海トラフ地震臨時情報とリスク管理

地震が発生するリスクは日本に住んでいる限りある。

(南海トラフ地震の発生確率は30年以内に80%、いどこではわからないリスク)

過去の地震の記録から地震に備えることが必要

地震を賢くおそれることが必要



南海トラフ地震臨時情報の正しい知識

地震の予知はできない(東日本大震災(2011)は予知できなかった)

予知はできなくとも発生確率が高まっている情報を提供

南海トラフの想定震源域内で **M7、M8 クラスの地震発生後7日間における、2度目の地震発生に対する備えについての情報発信** (一部割れ概念図)

●一部割れ(M7): **巨大地震注意**

→確率が数倍高くなる。日頃の備えを再確認

●半割れ(M8): **巨大地震警戒**

→確率が数百倍高くなる。津波浸水想定区域

から事前避難(想定区域はあらかじめ設定)

※1度目の地震へは日頃の対策しかない



南海トラフ地震臨時情報 → **苦肉の策**

南海トラフ地震臨時情報における対策

・都道府県・市町村・指定公共機関:「南海トラフ地震防災対策推進計画」策定

・津波浸水想定区域内の指定事業所:「南海トラフ地震防災対策計画」策定

→定住者や常時労働者への対策が中心

■2024.8 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)発出時の課題として、経済活動や観光についての対応が十分でない場合があった。

南海トラフ地震臨時情報について考えよう

日頃の対策が重要(ハード面:ソフト面)

- 個人・家族 家の耐震化、備蓄:地震発生後の連絡方法、集合場所
- 地域・団体 ブロック塀など危険物の改善、備蓄:要支援者への対応
- 行政・社会 社会インフラの耐震化、備蓄:救助活動、避難所運営

あなた自身や家族について今一度考えてみよう

① 地震に対する日頃の対策・発生時の対策

(日頃) _____

(発生時) _____

② 巨大地震注意(M7 発生時)に対する日頃の対策・発出時の対策

(日頃) _____

(発出時) _____

③ 巨大地震警戒(M8 発生時)に対する日頃の対策・発出時の対策

(日頃) _____

(発出時) _____

臨時情報に対するリスク管理を新しい発想へつなげよう

年に1度7日間の避難生活(または疑似避難生活)を実践する
→ _____ ができるのでは

地震発生後への貢献として資格や技能を身につける
→防災士資格・上級救命講習・ _____

本資料は右記のQRコードで入手可

